

5バリューアセットの齊藤です。いつもありがとうございます。



5バリューアセット株式会社  
代表取締役 齊藤彰一

令和6年は私には生活習慣の変化の年でした。朝晩のお参りの習慣ができました。87歳の母がいよいよ1人暮らしができなくなりましたので、鯖江の実家を片付け、仏壇じまいをし、お鈴(りん)を自宅の宝塚に持ち帰りました。

もともと今の私の部屋には仏像があったのですが、これを機に小さなお仏壇を購入し、出社前と帰宅時にお鈴を鳴らしてお参りをするのを毎日の習慣としました。

私は小さい頃はお祖母ちゃん子でして、祖母にいわれるまま高校を卒業するまでは毎朝このお鈴を鳴らしておりました。今再びこのお鈴を鳴らしてお参りをしますと、あの頃に戻ったような、死んだ祖母ともまた繋がっているような、不思議な感覚となります。

当時は何かと仏様に、子供ながらの願いをしていたものですが、今はただ機械的に毎日拝んでいる感じです。それでも私には大切に有用な習慣となりました。

私が20年以上の長期間お付き合いいただいているお客様に宗教法人が多いのも影響しているかもしれませんが、私はお参りやお祈りという習慣は絶対にあった方がいいと思っています。特に金融業界の人間には何かしらあった方がいいでしょう。

リーマンショックの反省として、ブッシュの経済政策・グリーンस्पーンの金融政策の失敗などの他に、金融が膨れ上がりすぎたこと、また、人々が強欲になりすぎたことがありました。

そして今日、リーマンショック時よりも更に日増しに金融は膨れ上がり、強欲な人は増えていています。残念ながら金融業界には特に「今だけ、金だけ、自分だけ」の人が多くなりました。リーマンショックの反省というものは、何もされてないように見えます。

私は、資産運用を行うにあたっては、債券中心を心がけて、なるべく投機性の高いものは避け、売り買いで儲けようとせず、インカム収入の積み重ねを目指すようアドバイスをしています、これはリーマンショックの教訓に基づいています。

自分の経験則ですが、毎日お参りをしていると、自分のあらゆる欲が抑制される感があります。資産運用の成功のため、健全な金融環境のために、特にファイナンシャルアドバイザーは何かしらお参りの習慣を持った方が私はいいいと思います。

このような話は普段は誰ともしたことがありませんので、他のファイナンシャルアドバイザーの意見はよく分かりません。このような感覚は今の金融業界ではかなりの少数派なのかもしれません。

ということで、年始には家族全員でこれまで以上に多くの神社参りをしたいと思っています。

2024年12月16日